



毎日版 沼津朝日新聞社 〒410-0888 沼津市末広町34 TEL.962-4840 FAX.962-4590 URL numaasa.com 1ヵ月 710円・1部 40円

三代続くごみ焼却場反対 清水町外原区の悲願

西岡 昭夫

五十年前のことだった。石油化学コンビナート建設計画反対集会の終了直後、たすきを掛けた人々が熱気溢る演壇前に飛び出した。「新しいごみ焼却場建設に反対している外原の人が訴えたいことがあるんですよ。もう少しくお待ちください」と、場内放送が流れた。

鶏足山とも呼ばれる香貫山は洞(谷)が多く、東斜面には北から南へ「一の洞」「二の洞」「三の洞」が並び、その洞の東側は昭和三十年代初めまで住宅も無く、沼津市と清水村の「外原」があった。

現在、三の洞には沼津市の焼却施設グリーンセンターがある。日量一五〇トンのごみを焼却する炉が二基、清水町のごみも受託処理している。旧焼却場があった二の洞への新焼却場建設計画に清水町の外原区住民が反対し、外原区長と長沢区長を除く十五区長連署捺印の「新焼却場早期建設要請書」が清水町長を経由して沼津市長に提出されるなど、清水町内の混乱が表面化している。

現在の三の洞焼却場が出来る前、二の洞で稼働していた初代焼却場は「無公害、完全密閉式、煙洗い流し方式」などをうたい、昭和四十一年に完成した。二基の炉が八時間稼働して日量七五〇トンを焼却し、高さ五〇メートルの煙突から焼却ガスを排出した。そして間もなく、一の洞にあった「し尿処理施設」の悪臭と、夕方に火を落として、翌朝、燃やし始めるパッチ式炉の煙と臭気が外原住民を襲い始めた。

「ごみは経済成長期に増える一方で、二の洞の焼却場も稼働時間八時間を二十四時間にすれば三倍のごみ(日量二二五〇ト)が燃やせると、騒音もまた炉は急速に劣化。また、施設内に充満したガスを外に排出しなければ、密閉された施設内で働く職員は健康状態も限界に近かった。無理な焼却が、未燃焼(ごみを含む)大量の燃焼残渣(ごみ)を生み、愛鷹山麓の暗黒洞(くらくら)や埋め立て場には臭気と共にハエ、カラス、ネズミなどが群がった。

その頃、市議会は、金岡自治会が提出した最終

からで、両市町だけでなく沼津市も共通している。一方で、新たに加わる「ごみ質の多様化」と「煙突からの排出物(ガス、粒子状物質)増加」は、行政区の「端」や「洞」でこそ燃やせず、では済まなくなってきた。

外原住民が初代二の洞焼却場の撤去と、三の洞への新焼却場建設反対を叫んでいた昭和五十年に撮影した写真を見ると、高さ五〇メートルの煙突から吐き出された煙は二通りに流れて外原に降りている。香貫山越えの風が煙を突近くで作った洞に煙が巻き込まれて渦巻き状になり、または煙突からの

三の洞の風で角度約三〇度の下降気流が発生する。一方で、新たに加わる「ごみ質の多様化」と「煙突からの排出物(ガス、粒子状物質)増加」は、行政区の「端」や「洞」でこそ燃やせず、では済まなくなってきた。

井手市長の「焼却灰の行き場がない。ごみを市役所に積みかかない」という悲壮な訴えや、二の洞焼却場による公害を受ける外原住民の苦境、清掃現場職員の健康問題などが発生した昭和四十九年末、既に百二十回を超す検討会では、三の洞への新焼却場建設も已む無しの機運が出始めた。後に「沼津方式」と全国に名を広げた分別収集は、この陣痛の中で現場職員が市内二百七十自治会の大半で学習会を開きながら広めた。焼却ごみ量と排ガス中の有害成分を可能な限り減らす、そのためには石油製品は燃やさない方式である。排

レンタルバイク沼津駅前
年間会員募集中!
(月額6,500円より)
0120-819-147
受付時間 10:00~19:00
仲見世マルサン書店南側 www.rental819.com

栗の木と漆の生活具展
9日までギャラリー オクワで
「栗の木と漆の生活具展」が9日まで、下河原町のギャラリー オクワ(和助二階)で開催されている。

煙が上昇して間もなく山による下降気流に乗って一気に地表に吹き下りている。

二の洞では、いへい煙突を高くしても洞が作り出す気流の影響は避けられない。西からの毎秒約

「栗の木と漆の生活具展」が9日まで、下河原町のギャラリー オクワ(和助二階)で開催されている。

手づくり家具の勝負(静岡市)が栗の木で制作したテーブル、椅子、チェスト、四方棚、サイ

北澤茂信さん が建具工芸展
9日まで千本プラザミニギャラリー
県技能士連合会優秀技能士の北澤茂信さん(三園町)の建具工芸展が九日まで、千本プラザ一階ミニギャラリーで開かれています。

幅三、程の細いピンキヤスギの木片を格子状に昇組した組子細工による作品が展示されている。千本プラザ一階ミニギャラリーで

箱物、数物、富士山を描いた絵手紙の額、色紙額などが並び、花器などが載せられる組子細工による台や、障子や張ったミニ障子、障子がき入れ、木製の名刺入れなど、新作を含む約五十点を展示している。

開場時間は午前十時から午後五時。

千本プラザ木版教室OB作品展が十日まで、千本プラザ地階多目的ホールで開かれています。

版画家杉田登(西門)の指導を受けて千本プラザで開かれていた木版教室のOB二十人が三十一日、杉田さんが信州の風景を描いた二点を出品している。

教室修了後も同会場、杉田さんの指導を長年受けてきた生徒同士が教え合いながら、自由なテーマで多色刷り木版画の制

煙が施設周辺に降下しないよう、煙突山側の稜線標高の低い位置に高い煙突を建てるなどの約束が市との間で交わされた。その高さ八五五メートルの煙突建設当時、技術を持つ職人が集めた苦労が語り草になるほどだった。

二の洞が、ゴミ焼却施設建設に最適な場所であるという理由で井手市長は、次期焼却場を二の洞ボードなど。

堅くて扱いが難しいとされる栗の木。家具のまじり静面でも栗の木を扱える職人は希だといふ。同工場の親方、勝見武司さんは東北地方の自然が育んだ美しい木目と、家具に形を愛でてからも生き続ける栗の木一途に仕事をつらねている。

「使い方はその人次第」の面白みのあるちやぶ台風の小机や、「小道い程度で求められる物」とフレイムや積木、また板漆を塗った盆なども並び「写真」。

「家具は、その家とそこに暮らす人に合わせるもの」と、展示会を参考にして、いろいろ尋ねてもらえれば、という。これも木の仕入れ、制作から販売までを一貫して行う同工房ならではの強みと言える。

開場は午前十一時から午後四時、最終日は二時。

問い合わせは同ギャラリー(電話九六二〇七五八)。

梓のはり
あずさ 中瀬町
932-3888
治療は予約で P5台有

海側を沼津アルプスなどの山に遮られている田方平野は空気の交換が悪く、秋から春先にかけて夜間に溜まる冷たい空気は「冷気湖」と呼ばれる。香貫山山頂より東側の平地は気温が四、五度低いこともあり、清水町側では冷気が町全体を覆い、霧が箱根山麓にまで及びることがある。五十年前、石油コンビナート建設計画の折には、上空より下層の温度が低いこの

「逆転層」の存在が公害を強める」と反対運動の強い根拠となった。

現在、大規模汚染源のごみ焼却場を平野部の平地で運用している自治体は、田方平野では沼津市だけである。今こそ建設場所を変更するチャンスである。一つの案として、現在地を離れた沼津市域に清水町が「ゴミ焼却特区」として焼却施設を建設してはどうか。その特区で近隣の沼津市民のごみも処理する。もちろん沼津市民のごみ焼却場は別の場所に建設する。

清水町が、面積で二十倍を超える沼津市域のいづれかに、清水町のごみ焼却場を持ちたいと解散すれば、「早期建設要請書」は清水町の汚点にはならないだろう。

(にしおか・あきお 元高校教諭・元名古屋大学講師)

言いたいほけい

聖白隠ミニライブ 上村 貞嘉

時が過ぎるのは早いもの、白隠禪師二百年忌を昭和四十二年十一月に勤修して、もうすぐ五十年。二百五十年忌が、もうすぐそこまで来ておられます。沼津の活性化にも必要です。沼津の活性化にも必要です。沼津の活性化にも必要です。

聖白隠ミニライブ 上村 貞嘉

「私、市民サイドでの「原の白隠さん」のアルバムが不足しているからだと感じます。白隠は富士山同様、郷土が生んだ世界的な偉人です。沼津の活性化にも必要です。沼津の活性化にも必要です。沼津の活性化にも必要です。

私が以前出版しました「白隠禪師物語」の縁があり、花園会館内書籍の詩を見せたところ、現地の調査も、今年の三月

だに白隠が知られていないような気がします。これは一体どうしてなのでしょうか。

私は、市民サイドでの「原の白隠さん」のアルバムが不足しているからだと感じます。白隠は富士山同様、郷土が生んだ世界的な偉人です。沼津の活性化にも必要です。沼津の活性化にも必要です。沼津の活性化にも必要です。

私が以前出版しました「白隠禪師物語」の縁があり、花園会館内書籍の詩を見せたところ、現地の調査も、今年の三月



高濃度・6ヶ

お問い合わせは元高校教諭・元名古屋大学講師